

学校に登校しない・できない子どもたちの支援をしています

西東京市における不登校児童・生徒の相談支援

西東京市教育委員会では、不登校は特定の子どもに起こるのではなく、「どの子どもにも起こり得ること」として捉え、不登校に対する取組を進めています。

不登校の子ども一人ひとりの状況は様々であり、不登校の回復に向けたステップも様々です。そのため、子どもたちの様々なニーズに応えられるよう、多様な学びの場、支援の場の提供や保護者の方への支援等を行っています。

本リーフレットでは、西東京市の不登校に関する支援事業等を紹介しています。

ぜひご活用いただき、不登校の子どもたちの社会的自立に向けて、一緒に取り組んでいきましょう。



不登校ってなに？

不登校とは、友達との関係で悩んだり、学習に不安な気持ちがあったりして、学校に通うことができないことをいいます。そのようなときは、不安な気持ちをがまんして学校に通うのではなく、家で休んだり、自分に合った方法で学習したりすることも大切です。

不登校について、正しく知りましょう。

- だれでも不登校になることがあります。
- 不登校は、「悪いこと」ではありません。
- 不登校の子どもが自分で決めた目標に向かえるよう大人たちが支えます。

子供向けデジタルリーフレット『「教育機会確保法」って何？』（東京都教育委員会）より



西東京市教育委員会

◆西東京市における不登校の相談先・支援機関等

ここに掲載している相談先・支援機関等は、不登校を含む、様々な内容について相談や支援を行っています。
下線の色で担当部署等を分けて表記しています。 校内 教育委員会 市役所の部署 都・国 市民の団体

校内支援

学校では、登校しづりや不登校の児童・生徒のために、別室等での対応等、様々な支援を行っています。学校の状況により対応内容が異なりますので、詳しくは各学校へご相談ください。☎学校へ問い合わせ

教育支援コーディネーター

各学校の教員で、学校内の関係者や外部機関との連絡調整、及び保護者の方の相談窓口として、児童・生徒に関する様々な相談に応じるとともに、校内における支援に関するコーディネーターの役割を担います。

対象年齢：小学1年生～中学3年生

☎学校へ問い合わせ

教育相談／幼児相談

子どもの心身の発達や生活、学習、親子関係や子育て等について臨床心理士等の相談員が相談に応じます。子どもの状態を把握し、心理教育的な助言やカウンセリング、心理療法等を用いて心身の成長を支援します。

対象年齢：幼児～高校生年齢まで

☎042-420-2830(教育相談センター)

教育支援センター「スキップ教室」

不登校の児童・生徒が通える教室です。スキップ田無教室とスキップ保谷教室があります。

スキップ教室は、まずは安心して通える場所となり、時間割に沿って通室することで生活のリズムを整えます。児童・生徒の興味・関心に合わせて無理なく学習に取り組めるように支援するほか、指導員や他の児童・生徒と関わりながら、何かにチャレンジしてみようという気持ちがわいてくることで、高校進学など将来に向けて動き始めるお手伝いもしています。スキップ教室の通室日数は学校の出席日数となります。

対象年齢：小学1年生～中学3年生

【スキップ田無教室】☎042-468-0195

【スキップ保谷教室】☎042-468-1093



勉強したい、生活リズムを整えたい、少しずつ学校に近いことをしたい人には、スキップ教室がおすすめです。ニコモルームで外に出ることに慣れてから利用する人もいます。

スクールカウンセラー(SC)

西東京市立小・中学校に配置されている心理の専門家。校内の相談室で児童・生徒本人、保護者の方の相談を受けるほか、授業中の行動観察や教職員への助言も行います。

対象年齢：小学1年生～中学3年生

☎学校へ問い合わせ

スクールソーシャルワーカー(SSW)

教育や福祉等の専門家で、児童・生徒と保護者の困りごとについて、様々な方法で状況改善に向けた支援を行います。相談内容に応じて、必要な情報を提供するほか、家庭訪問による支援や地域の関係機関への同行等も行います。

対象年齢：小学1年生～中学3年生

☎042-420-2829(教育支援課)

不登校ひきこもり相談室 ニコモルーム

不登校又はひきこもり状態にある子どもの相談ができる場所です。居場所の利用ができ、臨床心理士等の相談員と一緒に話したり遊んだりしながら関わります。スポーツや畑作業など、様々な活動を行うほか、家庭訪問による支援も行います。

開室日時：月曜日、水曜日、金曜日 午前9時～午後5時

対象年齢：小学1年生～18歳まで

☎042-452-2244

体験フリースペース ニコモテラス

学校に登校しておらず、まだ継続的な支援につながっていない児童・生徒が利用できます。相談員と話したり遊んだりしながら、継続してつながる場所を見つけるお手伝いをします。家庭訪問による関わりや、進路等の情報提供も行います。予約不要です。

開室日時：火曜日、木曜日 午前10時～午後4時

対象年齢：小学1年生～中学3年生

☎042-469-6080



ニコモテラスは予約が要らないから気楽。外に出てみるお試しにちょうどよいです。ニコモルームは、ニコモテラスよりも活動の幅が広がります。ニコモテラスに慣れてからニコモルームを利用する人もいます。

お子さまの教育に関することで、どこに相談したらいいかわからないときには、

教育相談総合窓口 **あったか相談窓口** にご相談ください。

●相談窓口(電話)で相談
教育相談総合窓口
あったか相談窓口
☎042-464-7110

●問い合わせフォームから相談受付
パソコン、スマートフォンでも
365日24時間OK
二次元コードから受付できます ⇒



職員が相談内容を伺い、適切な相談先をご案内します。

福祉丸ごと相談窓口

「介護と子育ての両立が大変・・・」「世帯で様々な課題がある。」
「でもどこに相談したらいいかわからない。」

福祉丸ごと相談窓口では、様々な分野の相談支援機関と相談者をつなぎ、課題解決に向けてお手伝いします。

☎ 042-497-4158 (ほっとネット田無ステーション)

☎ 042-438-9205 (ほっとネット保谷ステーション)

☎ 042-420-2809 (生活サポート相談窓口)

☎ 042-420-2808 (地域共生課相談窓口係)

※若者の自立のための相談窓口「We」(ひきこもりやニート状態にある市内在住の中学3年生から29歳までの若者に対し、自立に向けた支援を行っています。)に関しては、生活サポート相談窓口が問い合わせ先となります。

子ども家庭支援センター のどか

お子さん自身や子育て家庭からのさまざまな相談に応じる総合窓口です。地域の関係機関と連携を取りながら、お子さんと家庭に関する総合的な支援を行っています。

対象年齢:0歳~18歳

☎ 042-439-0081



西東京市市民協働推進センター ゆめこらぼ

市民活動を支援し、課題解決やまちづくりを支援している組織です。ホームページから、「子ども」や「不登校」など検索したいキーワードを入力して市民活動団体を検索することができます。

ホームページ:<https://www.yumecollabo.jp>

東京都教育相談センター

都内在住の方とその保護者からの相談に応じる窓口です。
【教育相談一般・東京都いじめ相談ホットライン】は24時間受付のフリーダイヤルです。

ホームページ:<https://e-soudan.metro.tokyo.lg.jp>

西東京市多文化共生センター

外国人の日常生活に関する相談ができます。
学校のことも相談できます。

☎ 042-461-0381



西東京市多文化キッズサロン

日本語を母語としない子どもとその保護者が安心して立ち寄ることができる地域の居場所です。日本語や教科の学習、悩みや困りごとの相談、地域の人や日本語を母語としない同じ境遇の仲間と交流できます。就学促進支援も実施しています。

☎ 042-461-0381

西東京市子ども相談室 ほっとルーム

困ったこと・悩んでいること・誰に相談してよいかわからないことなど、どんなことでもお子さん自身が相談できる場所です。子どものことであれば、おとなも相談できます。

相談対象:市内に在住、在勤、在学その他市内で活動する
原則18歳未満の子ども

相談方法:電話・メール・手紙・FAX・会って相談ができます。

相談専用電話:☎ 0120-9109-77

(フリーダイヤル クイックなやみなし)

市ホームページ(詳しい相談方法・相談時間はこちらから):

<https://www.city.nishitokyo.lg.jp/kosodate/KO/hotmail-soudan.html>

西東京市子ども LINE 相談

いこいな窓口@西東京

おおむね18歳までの市内に住んでいる、市内の学校に通っている、市内で働いているなどの方が利用できるLINEを使った相談窓口です。詳しくはこちらから→



内閣府 NPO ホームページ

「不登校」「西東京市」など検索したいキーワードを入力してNPO法人を検索できます。

ホームページ:<https://www.npo-homepage.go.jp>

公民館に登録されており情報が公開されている、不登校に関する市民の方の団体です(50音順)。詳しい内容やその他の公民館登録団体につきましては、柳沢公民館(042-464-8211)にお問い合わせください。
※ここに掲載しておりますメールアドレスやホームページ等は、各団体が問い合わせ先として公開しているものです。

つくしの会

中学生~高校生以上の不登校の子どもを持つ親の集まりです。子どもが学校に行かないと、親は一人で悩みがち。でも、ここに来れば何でも話せるし、いろんなヒントももらえて未来に希望が持てます。お気軽にご参加ください。

☎ yoshinori.tasaki@gmail.com(代表:田崎)

西東京市不登校情報ネットワーク

ハートライン♡にしとうきょう

講座参加者を中心とした不登校に関する情報交換会の場です。どなたでも参加OKです。開催日はお問い合わせください。

☎ heartlinenishitokyo@gmail.com

ひなたぼっこカフェ

不登校や親子関係について、お茶を飲みながら語り合い、ゆったり過ごしてみませんか。秘密厳守の安全な場です。開催日はNPO法人「猫の足あと」ホームページでご案内しています。

ホームページ:<https://nekonoashiato.jimdofree.com>

不登校などで悩む子どもたちの居場所

「ぼくるーむ」

月に3回程度、安心して自由に過ごせる場を目指して活動しています。一緒にゲームしたり、工作をしたり、おしゃべりしたりして過ごしませんか?ホームページやSNSもご覧ください。



不登校を考える親の会 IPPO

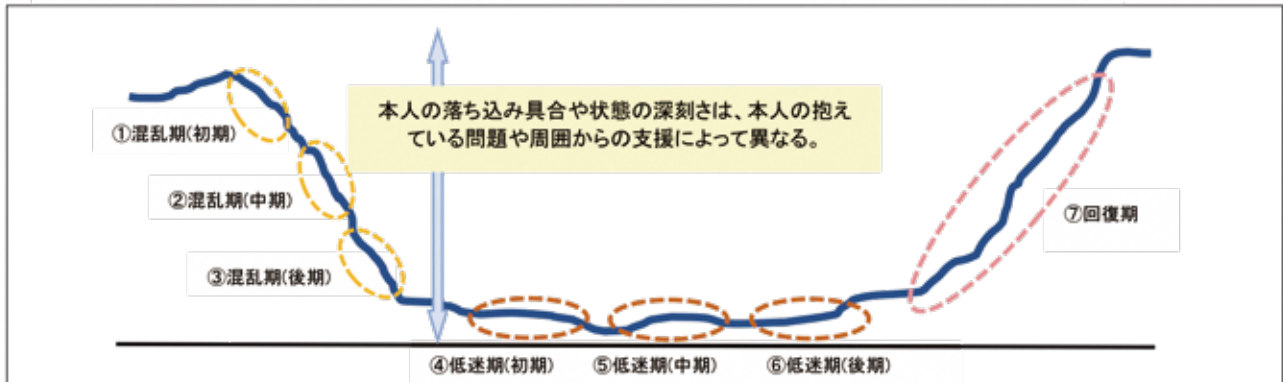
小学生から高校生以上の不登校の子どもを持つ親やそのOBを中心としたグループで、情報交換会、進路勉強会などを行っています。開催日はメールをくださった方にお知らせしています。

ippo2017@yahoo.co.jp



◆不登校児童・生徒の回復への道のり

不登校からの回復の道のりは、その様相や期間など、一人ひとり異なっており、決して一様ではありません。しかし、一般的にその状態は大きく「混乱期」「低迷期」「回復期」の三つの時期に分けることができます。下の表の子どもの姿を参考に、現在の状態を把握して、適切な支援を考えていきましょう。



参考 「広報すこやかさん」第 32 号(東京都教育相談センター)

◆子どもの姿と各段階における支援

	混 乱 期	低 迷 期	回 復 期
子 ど も の 姿	<p>(初期)勉強、部活、友人関係等で「なんでこうなるの?」という疑問や「これからどうなるの?」という不安を感じつつも、これまでの自分を維持しようと焦っている。</p> <p>(中期)必死になっているにも関わらず思うようにいかないことが続く。自分や周りに対する苛立ちにさいなまれながら、何をどうしたらよいか分からず混乱する。</p> <p>(後期)不安や焦り、怒りなどからくる混乱状況に疲れ、攻撃的になったり自暴自棄になったりする。</p>	<p>(初期)混乱しないで済むように「不安になること」「焦ること」は避け、少しでも安定していただけることを望む。</p> <p>(中期)将来への不安を感じるとともに、いつ安定した状態を崩されるか周囲に対して疑心暗鬼になる。現状をなんとか維持しようとする。</p> <p>(後期)安定はしているものの、どこかで物足りなさを感じ、動きたい衝動にかられる。しかし一方では依然と同じ苦しみは味わいたくないので躊躇することも多い。</p>	<p>安定が崩れないか心配になりつつも、自分を励まして、頑張ろうとする。行動範囲や生活範囲を広げ「もう一度学校生活を送ってみたい」「外の世界とつながりたい」などと思う。</p>
支 援	<p>校内支援、教育支援コーディネーター、スクールカウンセラー、教育相談/幼児相談、スクールソーシャルワーカー</p> <p>ニコモテラス</p> <p>ニコモルーム、スキップ教室</p> <p>福祉丸ごと相談窓口、西東京市多文化共生センター、西東京市多文化キッズサロン、子ども家庭支援センターのどか、西東京市子ども相談室 ほっとルーム、西東京市子ども LINE 相談いこいーな窓口@西東京、西東京市市民協働推進センターゆめこらぼ、内閣府 NPO ホームページ</p>		

不登校児童・生徒の回復への道のりをテーマに保護者向け啓発物を作成しています。

『不登校を通して見る子どもの気持ちと保護者の思いー子どもの心と成長を考えるー』

学校に登校しない・できない、登校渋りなどの不安や悩みを抱える児童・生徒の保護者の皆様に向けたハンドブックです。子どもの心の状態を知らせるサインや接し方のポイント、学校との関わり方、相談先や支援機関についてまとめています。

市ホームページからダウンロードできます。→

